

令和7年度  自 令和 7年 4月 1日 
 至 令和 8年 3月31日 

事業計画書

公益財団法人ながの観光コンベンションビューロー

公益財団法人ながの観光コンベンションビューロー

令和7年度 事業計画書

□ 事業運営方針

令和6年度は、旅行需要が大きく動いた1年となりました。特にインバウンドに関しては、円安も追い風となり、国全体では10月時点で3千万人を上回る過去最速の伸びを示し、観光地は活況を呈しました。また、日本人の国内旅行もコロナ前の令和元年と同水準に向かって着実に回復しております。

そのような状況の中、本市の観光関連産業の需要を喚起すべく、北陸新幹線敦賀延伸や急速に回復するインバウンドといった潮流を押さえながら、本市の特性を活かした事業を推進してまいりました。

まず、コンベンション事業は、コロナ禍でリアルとオンライン併用のハイブリッド開催が定着したこともあり、参加者数は伸び悩む状況もありますが、その中でも具体的成果を上げるために、誘致活動においては、令和4年度から取り組んできた高等教育機関との連携を一層推進し、信州大学、長野県立大学に続き、清泉女学院大学・短期大学、長野保健医療大学と新たに包括的連携協定を締結しました。協定締結以後、信州大学をはじめとして、大学からの案件は着実に増加しております。また、令和6年度は、観光庁の「コンベンションビューロー支援事業」の対象都市に本市が選定され、国際MICEの誘致力向上に向けた研修を受講し、様々な知見を得ることができました。

次に、観光振興事業について、国内旅行に関しては、北陸新幹線敦賀延伸を好機に、福井・長野両県と連携し、両県の強みである“蕎麦”をテーマとした誘客事業を実施しました。また、SNS等のデジタル媒体による情報発信を強化したことに加え、国内最大の旅行博「ツーリズムEXPOジャパン」をはじめとする大都市開催イベントへの出展やフィルムコミッションのロケ支援等、様々な面から本市の観光振興に取り組んでまいりました。

本市においても急回復しているインバウンドは、旅行商談会の開催が盛んとなっているだけでなく、海外からの旅行会社等の視察受入も増加しております。そのような中で、当法人では4つの国を重点ターゲットに定め、まず、台湾に関しては、現地の大規模マラソンである「田中マラソン」実行委員会関係者の長野マラソンへの招聘事業や現地の旅行代理店を活用した現地でのセールス活動を積極的に進めました。2つ目のタイ王国は、9月から10月を「タイ王国フレンドシップキャンペーン」期間と位置付け、昨年度に関係を構築した在東京タイ王国大使館の協力を得ながら、各種プロモーション活動を展開しました。3つ目のシンガポールは“果物”をキーワードとした旅行商品の造成と現地旅行代理店店舗でのプロモーションを実施し、4つ目のオーストラリアは、本市を拠点に据えての近隣市町村と連携による誘客活動を進めております。

令和7年度は、「大阪・関西万博」が開催されることにより、日本への注目度が高まることで、旅行需要の一層の高まりが予想されます。また、世界経済の成長率は前年を上回ることが予測されることから、グローバルな交流は成長を続けるものと推察されます。

これらの予測のもと、コンベンション事業は、先述の高等教育機関との包括的連携協定を活かした案件発掘を強化するとともに、長野市等の行政組織や商工団体等への営業を強化し、キーパーソン発掘に継続的に取り組んでまいります。また、「コンベンションビューロー支援事業」の受講により得た知見や地域の観光関連事業者との連携をもとに国際会議誘致へ結び付けるとともに、令和10年に予定されている「第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会」の開催も好機と捉え、スポーツ大会、合宿誘致にも注力してまいります。

観光振興事業は、多様化する個人の趣味趣向に響くように、引き続きエリア別、テーマ別のおすすめ情報をデジタルコンテンツ中心に発信し、効果的な誘客を図ってまいります。隆盛なインバウンドに関しては、本市及び周辺地域のステークホルダーとの連携を図るとともに、特にスキーシーズンについては、交通の利便性が高い本市を滞在拠点としながら、周辺市町村のスキー場を楽しむ新たなスタイルを提案してまいります。また、交通のハブとなる長野駅では、長野市観光情報センターも含めた駅周辺が一体となって来訪者の利便性向上に努め、荷物預かり所の設置等、受入環境の整備を推進してまいります。加えて、中期的には令和9年に開催が決定した「善光寺前立本尊御開帳」によるインバウンド誘客に向け、善光寺御開帳奉賛会と連携し、準備を進めてまいります。

引き続き、賛助会員の皆様、地方自治体、関係諸団体の皆様とも密接に連携し、本市の資産である人の温かさ、豊かな自然や歴史文化を活用しながら事業を推進し、観光振興を行ってまいります。

I コンベンション事業

目的

コンベンションの誘致及び長野市内で開催されるコンベンションの支援をすることで経済波及効果の期待できる長野市内の宿泊客を増やし、地域経済の活性化を図る。

事業の概要

コンベンション事業費	予 算 額	前年度予算額	比較増減
	83,421 千円	77,266 千円	6,155 千円

1 コンベンション誘致事業

(1) 高等教育機関との包括的連携協定締結に基づくコンベンション案件発掘

令和4年度から順次締結をしている県内高等教育機関との包括的連携協定を活かし、支援内容の周知及びきめ細やかなサポートをすることにより、コンベンション案件を発掘する。特に信州大学については、医学部等に関連した学会等多数の案件を有していると考えられることから、定期的に松本キャンパス内に相談デスクを開設し、長野市開催に向けた相談に乗ることに加え、キャンパス内の教員に対する営業を強化する。また、協定締結後相談件数が増加している長野県立大学においても、同様の相談デスクの設置に向けて大学側と協議を行う。

【包括的連携協定締結機関】

国立大学法人信州大学	(令和5年3月22日締結)
公立大学法人長野県立大学	(令和5年6月1日締結)
清泉女学院大学・清泉女学院短期大学	(令和6年4月1日締結)
学校法人四徳学園 長野保健医療大学	(令和6年4月1日締結)

(2) 観光庁コンベンションビューロー支援事業をフックにした国際会議の誘致活動強化

令和6年度「観光庁コンベンションビューロー支援事業」の支援対象都市に選定されたことにより、年間を通じて国際会議の誘致に向けた研修を受講して得た知見や、地域のステークホルダーとの連携態勢を基に、具体的な案件を設定して誘致活動を行っていく。

(3) 令和7年大阪・関西万博開催に伴う関西圏からの案件誘致活動

令和7年大阪・関西万博開催に伴い、地方に分散されると推測されるコンベンションを主なターゲットとして関西圏の企業等へ営業訪問を実施してきたが、現状延伸が途中の敦賀駅までにとどまっており、今回の延伸に対する関西在住者の関心が低いという現状が確認された。については、関西圏におけるコンベンション誘致活動を軌道修正し、(一社)長野県観光機構等、他団体が主催する商談会やキャラバンへの参加等により、効率的な誘致を行うものとする。

(4) コンベンション開催地決定に影響力を持つキーパーソンの発掘

コンベンション開催場所の決定に影響力を持つ長野市等行政組織や商工団体等への営業を強化し、キーパーソンの発掘を行う。

【主なリサーチ対象団体】

行政組織、長野市保健所、長野商工会議所、(一社)長野県経営者協会、長野県中小企業団体中央会、県人会等の官・民組織

(5) 観光庁をはじめとする政府機関や全国コンベンション誘致団体等との連携強化

観光庁をはじめとする政府機関や全国のコンベンション誘致団体等との連携を強化し、各種会議・シンポジウム・セミナー等へ積極的に参加するとともに、過去の議事録を再確認するなど、コンベンション誘致に伴う有益な情報の収集に努める。

【主な連携団体】

JCCB（（一社）日本コンGRES・コンベンション・ビューロー）
JCMa（（一社）日本コンベンション協会）
JSTA（（一社）日本スポーツツーリズム推進機構）
中部コンベンション連絡協議会
四都市コンベンションビューロー連携会議

（6）教育機関に対する合宿・教育旅行誘致

過去の実施データを基に、学生の合宿（スポーツ系・文化系）誘致を推進する。また、学校向けの教育コンテンツを発信するとともに、宿泊代・貸切バス代の高騰等に起因して従来の教育旅行に方面変更が生じている状況を踏まえ、新たなターゲット設定及び営業訪問を展開する。

（7）ビッグハット、エムウェーブを対象とした大規模コンサートに対する誘致

市内への経済波及効果が極めて大きいビッグハットまたはエムウェーブが会場となる大規模コンサートを誘致するため、長野駅と会場間を結ぶシャトルバス運行に対する経費を支援する「コンサートシャトルバス支援制度」を活かし、コンサートの誘致に繋げる。

（8）過去のデータベースに基づくターゲットの設定と今後の誘致活動に活かせるデータ管理

これまでの膨大な誘致活動データをできる限り整理して、ターゲットの見える化を行う。開催終了した案件は、主催者評価やキーパーソン情報も含めた今後の誘致に活かせるデータベースとなるように、システム仕様の修正及び入力方法を統一する。

2 コンベンション開催を促進するために行う各種支援事業

（1）コンベンション支援

コンベンション開催を促進するために、各種要綱に基づき、支援を行うもの。

【支援内容】

- ① J R 長野駅デジタルサイネージ及び大会開催会場における歓迎看板等の設置・掲出
- ② パンフレット等の提供
- ③ エクスカーションバス・シャトルバス（駅・会場・宿泊施設間）の運行
- ④ 商店街等への歓迎ポスターポスター・タクシードアへの歓迎ステッカー掲出
- ⑤ アトラクションの提供

（2）助成金及び支援金の交付

コンベンション開催を促進するために、各種要綱に基づき、主催者または旅行事業者に対し、助成金及び支援金交付を行うもの。

【助成金・支援金一覧】

- ① 主催者に対する助成金・支援金
 - ア コンベンション開催助成金
 - イ 国際コンベンション開催助成金
 - ウ スポーツ大会開催支援金
 - エ 合宿開催支援金
 - オ 企業コンベンション開催助成金
 - カ コンサートシャトルバス支援金
- ② 旅行事業者・交通事業者等に対する支援金
 - ア 企業コンベンション送客促進支援金
 - イ 合宿幹旋送客促進支援金
 - ウ コンサートシャトルバス支援金（※重複）

(3) コンベンション開催準備金貸付

長野市内で開催されるコンベンションに対し、主催者支援のためコンベンション開催準備金の貸付を行い、主催者の便宜を図ることによりコンベンション誘致を促進するもの。

具体的には主催者への貸付金を当法人が金融機関から借入れ、利息及び手続き費用を当法人が負担し、主催者へ無利息で貸し付けを行う。

3 コンベンションに関する情報収集・情報発信

(1) 情報収集

① コンベンションアンケート

コンベンション主催者・参加者へのアンケート調査を行い、調査結果を基に誘致活動・受入態勢を強化するとともに、調査に基づく経済波及効果等の試算・公表を行う。

② コンベンションデータベース

過去に取り扱った案件のデータベースを整理し、次の誘致に繋がるデータ基盤を構築する。

(2) 情報発信

① デジタル媒体

ア コンベンション誘致情報のデータベース管理により、情報共有化と誘致活動を推進する。

イ 長野市のコンベンション、合宿及び観光情報等を当法人ホームページから発信する。また、当法人ホームページ賛助会員専用ページのコンベンション開催等情報を随時更新するとともに、賛助会員へ次年度以降開催のコンベンション情報を提供する。

② アナログ媒体

ア 機関紙「インフォームながの」を発行し、賛助会員、関係行政機関、大会主催者等に、事業活動報告及びコンベンション・観光に関する情報を提供する。(年3回発行)

イ コンベンション開催予定状況調査によるコンベンションカレンダーを発行し、コンベンションの告知及びイベント情報の紹介を行う。

ウ MICE業界誌、県人会誌、大会プログラム等への広告掲載により、大会主催者や大会参加者に向け長野市のPRを行う。

4 「おもてなしの心」の醸成を図る事業

セミナー及び情報交換会の開催により、「市民のおもてなしの心」の醸成及び賛助会員間の情報交換や連携推進を図る。

Ⅱ 観光振興事業

目的

観光誘客を推進することにより、街のにぎわい創出及び地域の産業経済の活性化を図る。

事業の概要

観光振興事業費	予算額	前年度予算額	比較増減
	179,878 千円	175,677 千円	4,201 千円

1 観光宣伝事業

多様な媒体を活用し、長野市の観光及び特産品のPR活動を通じて長野市及び周辺地域の知名度向上を図る。

(1) 自主媒体

① デジタル媒体

ア 公式ホームページ

個人の好みや興味・関心に合わせた旅行が増加しているため、多様化する個人の趣味趣向に響くようにエリア別、テーマ別のおすすめ情報を提案型で発信する。

URL <https://www.nagano-cvb.or.jp>

イ SNS

ユーザーや発信する内容に適したSNS媒体を活用し、旬な観光情報を発信する。

【利用サービス】

Instagram https://www.instagram.com/nagano_cvb/

X (旧 Twitter) https://twitter.com/nagano_cvb

Facebook <https://www.facebook.com/nagano.cvb/>

Threads https://www.threads.net/@nagano_cvb

ウ デジタルサイネージ

JR長野駅デジタルサイネージを活用し、長野市PR動画を放映することにより、長野市の魅力発信に努める。

② アナログ媒体

ア パンフレット

長野市ならではの歴史・文化・自然や、郷土食を紹介するパンフレット等を作成し、各種イベントや旅行商談会等で配布することにより、旅先として選ばれるようPRする。

また、インバウンドに向け外国語（英語・中国語等）版観光パンフレット等を作成し、海外旅行博等で配布することにより、長野市の代表的な観光情報を継続的に発信し、知名度向上を図る。

【作成対象】

<国内向け>

長野市総合パンフレット／長野市街散策案内（長野駅～善光寺周辺マップ）／
英語併記ガイドマップ／長野市ロードマップ／ながのグルメガイド

<インバウンド向け>

英語版長野市総合パンフレット／中国語繁体字版長野市総合パンフレット／
中国語簡体字長野市総合パンフレット／韓国語長野市総合パンフレット／
タイ語版長野市総合パンフレット

(2) 他社媒体

① デジタル媒体

ア テレビ・ラジオ

ターゲットを明確に定め、訴求効果の高い内容となるよう企画し、長野市が旅の目的地となるよう発信する。

イ ウェブサイト

OTA（オンライン・トラベル・エージェント）等のウェブサイトを活用し、長野市の魅力を発信する。

ウ デジタルマップ

紙とデジタルのメリットを融合させた善光寺表参道界限のデジタルイラストマップを活用し、旅マエ・旅ナカの情報収集の利便性向上を図るとともに、実際の行動に基づくGPSデータを取得することにより、善光寺表参道における来訪者の行動分析を行う。

② アナログ媒体

ア 新聞・雑誌等への広告掲載

新幹線車内誌への記事掲載等、ターゲットを明確に定めた訴求効果の高い媒体を活用して、長野市の観光情報を発信する。

(3) リアルイベント

ア 旅行博・旅行商談会

ツーリズムEXPOや旅行商談会等に出展し、旅行への関心が高い一般消費者や観光業界関係者に対して具体的に観光コンテンツの魅力をPRする。

2 誘客推進事業

長野市及び周辺地域の観光関係団体・交通事業者・観光事業者と連携し、国内外から長野市及び周辺地域への誘客推進を図る。

【国内向け事業】

(1) 旅行会社への情報発信及び支援金交付

団体旅行が減少する中で、よりテーマ性の高い旅行が求められていることから、旅行会社に対して具体的な観光素材の提供を行って効果的な誘客を図るとともに、旅行会社から企画提案のあった旅行商品を対象に、バスツアー造成支援金を交付する。

(2) 松代文化施設等におけるクーポン券精算業務

長野市の文化財施設入館料の精算における利便性を高め、立寄り先として選んでもらうため、松代文化施設等における旅行会社とのクーポン券精算業務を行う。

【インバウンド向け事業（ターゲット国別誘客戦略）】

インバウンドに関しては、以下の4か国を主要ターゲット国に設定し、個々に具体的な戦略をもって誘客推進に努める。また、海外から視察等に訪れるエージェントやランドオペレーターに対しては、その機会を最大限に活かして関係構築に努めるとともに、データベース化を推進する。加えて、きめ細やかなフォローアップによって良好な関係を維持することにより、商品造成へと結び付ける。

(1) 台湾

しなの鉄道及び台湾鐵路管理局との連携に加え、現地観光代理店の活用により、誘客強化を図る。また、次回の善光寺御開帳に向けて、現地プロモーションを展開する。

(2) タイ王国

在東京タイ王国大使館との繋がりを活かし、長野市内における市民のタイ王国の文化への関心や理解を深め、その様子を現地で報じてもらうことにより、タイ王国の国民の関心が長野市に向くよう、現地報道機関とも連携しながら、プロモーションを展開する。

(3) オーストラリア

令和5年3月に「長期滞在型観光振興に係る協定」を締結した長野市、松本市、白馬村の3市村で連携し、冬期にスキー目的で白馬村を訪れる外国人旅行客を対象に交通や食、市内観光コンテンツの情報発信を強化することで白馬村からの周遊を促す。

(4) シンガポール

“フルーツ”をキーワードに、現地の大手旅行代理店とタイアップした旅行商品の造成や、フルーツ狩りの体験コンテンツの受入整備を進めるとともに、長野駅周辺におけるフルーツの買い物情報等を集約し、ウェブサイトで発信する。

(5) その他

その他の国に対しては、J N T O（日本政府観光局）や長野県等の広域団体と連携し、海外での商談会や旅行博等への出展及び現地旅行会社等への誘客活動を行うとともに、オンラインによるセミナー・商談会にも積極的に参加することにより、効果的な誘客を行う。

3 観光客滞在時間延長事業

観光客の長野市及び周辺地域における滞在時間の延長を図るため、賑わいある街づくりと消費向上による地域経済への波及効果の創出を促す。

【実施内容】

(1) 旅ナカでの情報発信強化

手軽な情報収集のため、着地型のガイドマップやパンフレット等を作成し、市内宿泊施設や観光施設に設置することにより、観光客の市内周遊促進と滞在時間延長に繋げる。

(2) 真田信之公顕彰事業

歴史ファンに向けて各種媒体を活用し、令和4年度の真田信之公入部400年事業を契機とし、継続的に信之公について発信し、町内の滞在時間延長と市内周遊を目指す。

4 新たな観光の魅力創出事業

観光団体や観光事業者等との協働により、地域の観光資源を掘り起こし、隠れた観光名所等を具体的な旅行プランとして企画・提案することにより、訴求力を高める。また、誘客効果の大きい各種行事や祭り、イベント等を支援することで、観光誘客の促進及び地域活性化を図るとともに、事業を通じた住民の地域文化における魅力の再認識及び地域に対する愛情の醸成を促す。

民間旅行会社と共同で企画立案することで、持続的に民間での催行が可能となる商品の造成を進める。

【実施内容】

(1) 美味しいそばPR事業

旅行の重要な目的の一つである「食」について、長野の「食」の代表であるそばのPRを強化するとともに、日本三大そばの一つである「戸隠そば」の更なるブランド化を図る。

また、令和6年3月に北陸新幹線が延伸した福井県及び集客プロモーションパートナー都市協定締結都市である福井市と連携し、両県の名産品である「信州そば」と「越前そば」という『そば』をキーワードに、互いに協力しながら各地においてPRすることで、東京方面及び関西圏からの観光誘客に繋げる。

(2) 着地型旅行商品企画造成及び支援事業

長野の自然や食を堪能できる着地型旅行商品を民間旅行会社と共同で企画・実施し、長野市の魅力発信と誘客に努める。

なお、初期段階において、採算性の観点等から民間旅行会社での催行が難しい場合には、当法人が試験的に実施し、販売実績を得ることで民間による催行実現に繋げる。

(3) 各種観光行事・イベント・祭り支援事業

長野びんずる、長野えびす講煙火大会、長野灯明まつり等の観光行事や祭りを支援し、県内外からの誘客を図る。

5 観光案内施設の運営

長野市の玄関口であるJR長野駅構内の「長野市観光情報センター」は、長野市を中心とした北信地域をはじめ、長野県全体へ旅行する観光客やビジネスパーソンにおけるハブ機能をもった拠点を担う状況となっている。そのため、訪問する方々の様々なニーズに合った情報の提供やPR、情報収集等を行うとともに、「おもてなしの心」による対応で訪れる観光客の利便を図り、また訪れたくなる「長野市」「長野県」を醸成する。

【サービス内容】

- (1) 長野市及び北信エリア、長野県内における観光情報の提供と案内
- (2) 各種チケットの交換、受付と販売等
- (3) 当日宿泊の斡旋
- (4) 電話等による観光案内に対するパンフレット等の送付
- (5) 車いすの貸出、外貨両替機の設置

6 フィルムコミッション事業

長野市及び北信濃地域で行われる映画・テレビドラマ・CM等の撮影を誘致するとともに、ロケに関する制作支援、広報支援を行うことで、撮影隊がもたらす直接経済効果の獲得と制作された映像作品を通してロケ地が広く紹介されることによる長野市の知名度及びイメージの向上に繋げ、新たな観光誘客及び地域経済の活性化を図る。

【実施内容】

- (1) 映画、ドラマ、CM、アニメーション等のロケ候補地の選定と映像制作者への提案
- (2) 映画、ドラマ、CM、アニメーション等のロケ撮影に係る交渉・連絡調整・地元業者の紹介
- (3) 映画、ドラマ、CM、アニメーション等のロケ撮影に係るエキストラ・ボランティア手配
- (4) 撮影支援作品の広報宣伝に絡めた撮影地のプロモーション活動
- (5) 市内ロケーション写真・映像資料、ドローン映像等の提供
- (6) 関係団体及び近隣市町村と連携したロケ撮影の情報共有及び誘致